

タイトル	2026 年度 一般選抜（前期日程） 共同教育学部（教育人間科学系） 小論文問題 1
評価の ポイント	【評価のポイント】 記憶の心理学研究者である高橋雅延氏の著書から、「人は意味を求めるという特性を有している」ことを述べた部分を取り上げて出題した。このなかでは ・ 人間は自分の周りの世界の対象に、たとえ曖昧なものや理解しがたいものであっても、自分の経験などに基づいて、意味を求めてしまう。 ・ こうした傾向は赤ちゃんでも認められる。 ・ これは、状況が危険か安全か意味を知ること生き延びてきたという、人類の歴史に由来する。 ・ こうしたことから、意味を考えない「丸暗記」は、学習の方法として不自然である。ということが複数の研究を通して述べられている。この論考をもとに、以下の点を重視し、総合的な思考力、表現力の面から評価を行った。 ・ もとの文章を的確に要約できているか。 ・ 意味を求めることが学習に有効か否か、またその理由を、「自分の経験に基づいて」「丸暗記と対比させて」論じることができているか。 ・ 原稿用紙の使い方、誤字脱字、文のねじれなど表現面で問題がないか。 出典 高橋雅延 『記憶の深層－〈ひらめき〉はどこから来るのか』 岩波書店, 2024 年, pp. 4-8.

タイトル	2026 年度 一般選抜（前期日程） 共同教育学部（教育人間科学系） 小論文問題 1
解答例	【解答例】 問題 1－1 人間は自分の周りの世界の対象に、たとえ曖昧なものや理解しがたいものであっても、自分の経験などに基づいて、意味を求めてしまう。こうした傾向は大人だけでなく、赤ちゃんでも認められる。このように「意味を求める」習性は、状況が危険か安全か意味を知ることによって生き延びてきたという、人類の歴史に由来するものである。こうしたことから、意味を考えない「丸暗記」は、学習の方法として不自然であると言える。 (192 文字) 問題 1－2 私は意味を求めることは、何かを学ぶときにとても有効だと考えている。そう考えた背景には、英単語の学習経験がある。私は英単語を何十回も読み上げたり書いたりしても、なかなか覚えられなかった。ところが語尾や語幹の似た単語を並べて、共通のニュアンスを考えることで、スムーズに学習が進むようになった。例えば input（入力）と income（収入）はどちらも、「何かが入ってくる」というニュアンスがある。これらをまとめて覚えることで、単語の意味がイメージしやすくなった。 意味を求めることで、複数の事柄が結びついて、理解できる。理解できたことで初めて、自分自身の記憶として確実なものになる。またバラバラに丸暗記するのに比べると、関連するものをまとめる方が効率が良い。さらに、他のものと結びついているので、もし忘れたとしても、思い出しやすくなる。こうしたことから、意味を求めることは学習に有効で不可欠である。 (395 文字)

タイトル	2026 年度 一般選抜（前期日程） 共同教育学部（教育人間科学系） 小論文問題 2
評価の ポイント	【評価のポイント】 教材文の学習方法と記憶成績との関連に関する、心理学実験を紹介した文章である。二つの実験結果を整理して述べ、そういう結果になった理由について、自分なりの考察ができていくかという観点で評価する。 実験の主要な結果は、次の二点である。第一に、「教材を読む」だけでなく、「思い出して書き出す」という活動を行う方が、学習に効果的である。読んだ直後は「読むだけ」の方がやや優れているが、日数経過後は反対に、「思い出して書き出す」方が優れている。第二に、「教材を繰り返し読む」ことにより、1 週間後のテストに対する自信は高まるが、逆に教材に感じる面白さは低下する。 この内容をもとに、以下の点を重視し、総合的な思考力、表現力の面から評価を行った。 ・二つの実験の結果を整理して、的確に述べているか。 ・こうした結果が得られた理由について、論理的な考察ができていくか。 ・原稿用紙の使い方、誤字脱字、文のねじれなど表現面で問題がないか。 出典 Roediger, H. L. III., & Karpicke, J. D. (2006). Test-enhanced learning: taking memory tests improves long-term retention. <i>Psychological Science</i>, 17, 249-255.

タイトル	2026 年度 一般選抜（前期日程） 共同教育学部（教育人間科学系） 小論文問題 2
解答例	【解答例】 二つの実験では、同じ教材を「繰り返し読む」条件と、「読むだけでなく思い出して書き出す」条件で、教材の記憶成績を比べている。読む回数や思い出す回数は二つの実験で異なっているが、結果は共通している。成績は読んだ直後は「繰り返し読む」条件の方がやや優れているが、日数経過後は「思い出して書き出す」条件の方が優れている。教材を読むだけでなく、思い出して書き出すという活動を行う方が、学習に効果的である。また実験 2 からは、「教材を繰り返し読む」ことにより、1 週間後のテストに対する自信は高まるが、教材に感じる面白さは低下することがわかった。 自分の経験でも、教科書を繰り返し読んでいると、学んでいるという自信は強まる。しかし気がつくとぼんやり読んでいるだけ、という状態になっていることもある。繰り返し読むうちに、実験 2 でわかったように教材に対する関心が低下し、ぼんやりした読み方になってしまうのだろう。反対に、読んだことを思いだして書き出すという活動は、単に読むのに比べて、「思い出す」「書き出す」という要素が加わる分、頭を使わなければならない。その結果、読むだけに比べると、記憶の定着に効果的なのだろう。実験 2 では「思い出す」活動が 1 回の条件より、3 回の条件の方が、1 週間後の成績がさらに良くなっている。このことから、「思い出して書き出す」ことで、いっそう頭を使い記憶が定着したと言える。 (591 文字)